

## 第1回天王寺動物園経営形態検討懇談会 議事要旨

■開催日時：平成28年9月12日（月）17：30～19：30

■開催場所：大阪市天王寺動物園 レクチャールーム

■出席者：

（委員）蒲生委員、佐々木委員、高瀬委員、宮下委員（五十音順）

※佐渡友委員は、所用のため欠席

（建設局）高橋天王寺動物公園事務所長、牧動物園長、板谷改革担当課長、犬塚管理担当課長、今西動物園担当課長、ほか3名

（経済戦略局）磯野集客拠点担当部長、ほか2名

### 【議事要旨】

#### 1 開会にあたって

（1）趣旨説明及び懇談会の進め方について

（2）座長の選出

・高瀬委員を座長として選出した。

#### 2 事務局より資料説明と質疑応答

（1）天王寺動物園の概要、現状と課題について

資料1をもとに事務局より説明

（2）天王寺動物園101計画《基本計画》（案）について

資料2-1、2-2をもとに事務局より説明

（3）経営形態検討の必要性について

資料3をもとに事務局より説明

・これまで動物園は外部からの意見を聞くことはしなかったが、101計画にしても大変面白いし、外部に開けた状況にしていくというのは必要であると感じている。

（宮下委員）

・運営の硬直性として人事と予算・契約の2点の硬直性があがっているが、運営の硬直性はこの2点に集約されるのか。（高瀬委員）

→社会教育施設であり、サービス施設でもある動物園という施設をやっていくにあたって、これらの点が原因で臨機応変に動けないと感じている。（事務局）

・次回に向けて、民間企業による指定管理者制度に移行している事例があれば、今後の議論の参考とするためその状況を提供してほしい。（高瀬委員）

- ・経営形態を検討するにあたって、公費負担は一定程度あるのはよいが、受益者負担と公費負担の妥当性は議論していく必要がある。(蒲生委員)

(4) 天王寺動物園が採りうる経営形態について

資料4をもとに事務局より説明

- ・資料には民営化が検討対象から外れているが、最初の検討から外すのではなく、入れたうえで議論したほうがよい。(宮下委員)
- ・地方公営企業という形態もあると思うので、検討対象に加えるべきである。(蒲生委員)
- ・海遊館が第3セクター方式から民営化していることも踏まえると、水族館と動物園の違いはあるとはいえ、検討の参考材料になりうるので、加えてほしい。(高瀬委員)
- ・動物のやりとりなどにも柔軟性が求められているのであれば、その視点も加えて分析していくべきである。(高瀬委員)

3 事務局より今後のスケジュールを説明

4 閉会